

景況

レポート
2023年7～9月期調査

景気動向の概況

業況DIは
前期比1.6ポイントプラス

今回のアンケート調査は、新型コロナウイルス5類移行後の行動制限がない初めての夏を迎え、人出の増加と共にインバウンドやレジャー需要が活発化する一方で、急速な円安によるコスト増や物価高、海外経済の減速懸念等が混在化する中で実施されました。
こうした環境下、今期の全業種業況DIは▲8.8で前期比1.6ポイント上昇したものの、全体の景況判断としては横ばいとなりました。また、来期については、やや改善の見通しとなっています。
今後も、新型コロナウイルス感染症による景気のマイナス要因が剥落する中で、インバウンド需要の本格的な回復等が期待される反面、為替変動、原材料価格、消費者物価の動向、ウクライナ情勢などの懸念材料にも引き続き注視が必要です。

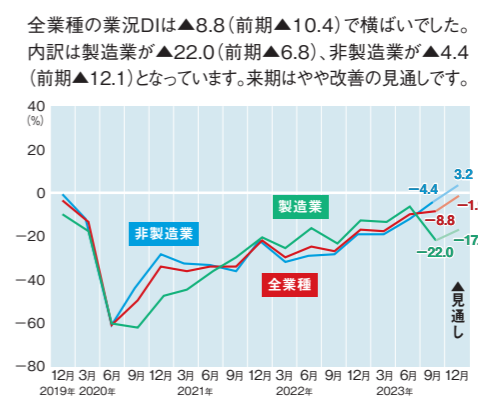
調査要領	合計			小売業			不動産業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
	1601社	511社	31.9%	255社	79社	31.0%	119社	42社	35.3%	295社	78社	26.4%
	製造業	357社	127社	35.6%								
	建設業	288社	89社	30.9%								
	卸売業	287社	96社	33.4%								

調査時点/2023年8月16日～9月5日
調査依頼先/当庫取引先
調査方法/郵送調査
調査対象期間/[今期]2023年7月～9月
[前期]2023年4月～6月
[来期]2023年10月～12月
分析方法/[増加](上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。
※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

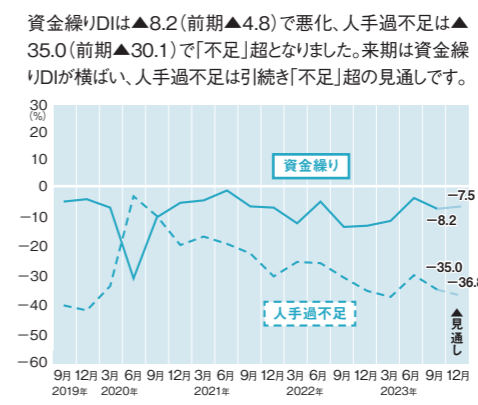
全業種総合DI

業況は横ばい
来期はやや改善の見通し

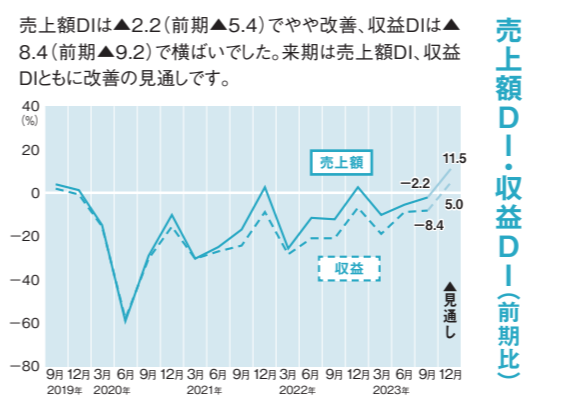
業況DIの推移



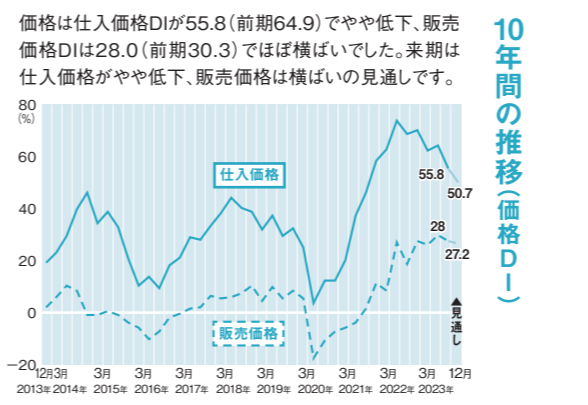
資金繰りDI: 人手過不足DI



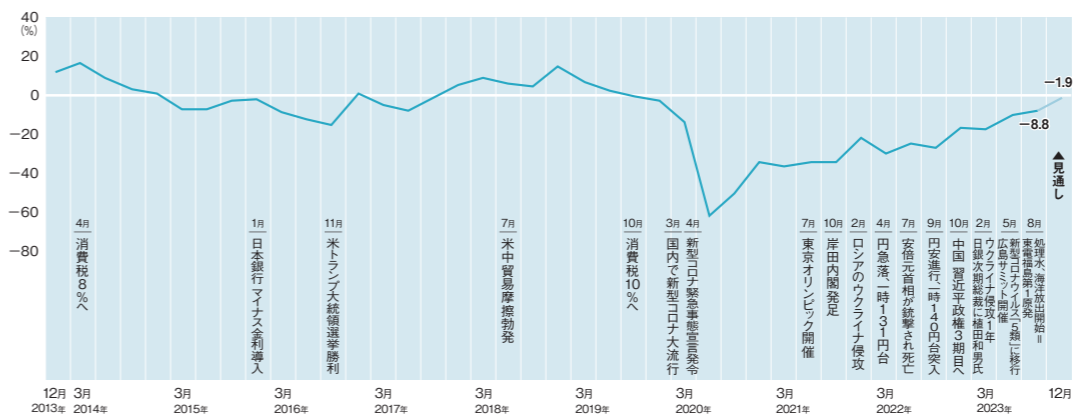
10年間の推移(業況DI)



売上額・収益DI(前期比)



10年間の推移(価格DI)

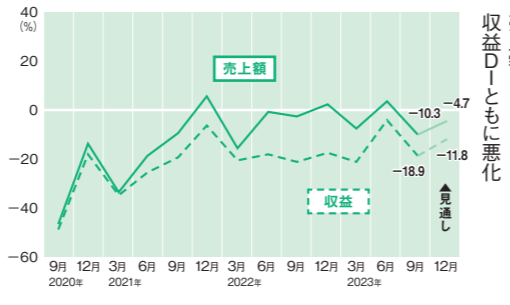


製造業

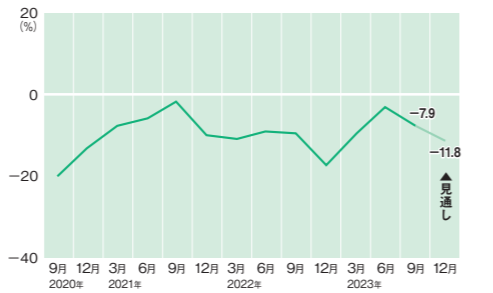
業況は大幅に悪化
来期はやや改善の見通し

前期 ☁️
今期 ☔️
見通し ☁️

10年間の推移(業況DI)



資金繰りDI

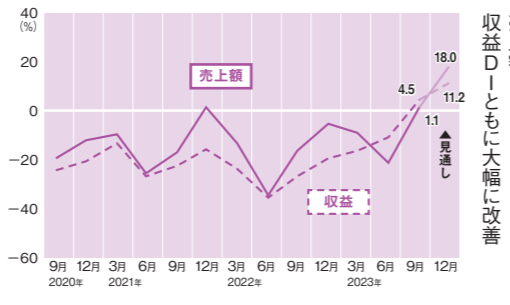


建設業

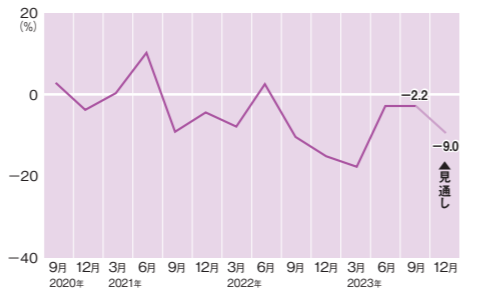
業況はやや改善
来期は大幅に改善の見通し

前期 ☁️
今期 ☔️
見通し ☁️

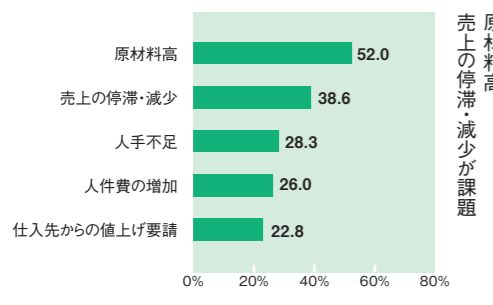
10年間の推移(業況DI)



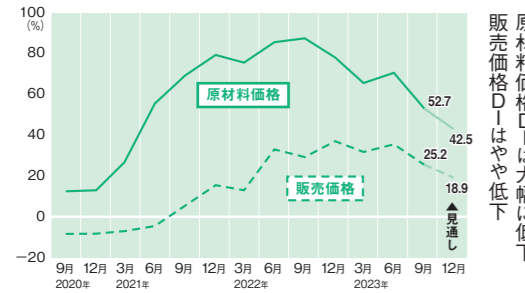
資金繰りDI



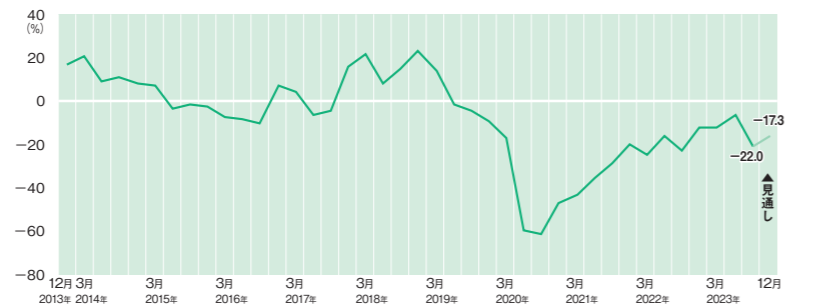
経営上の問題点



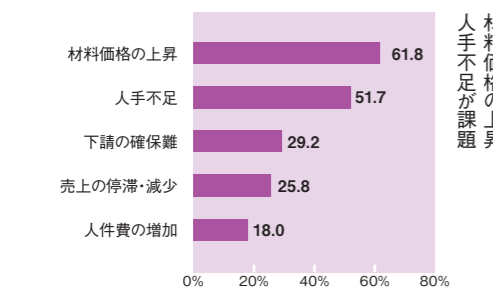
価格DI



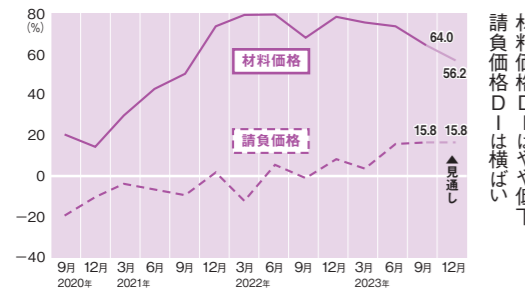
お客様の声
今年も最低賃金を上げることですが、いつまで経っても安売りで競争している量販店、仕入先への圧力で値上げを許さない大企業!商売とは面白いお互いにウィンウィンでなければ中小企業は持たないのでは!
(近江八幡市 製造業)



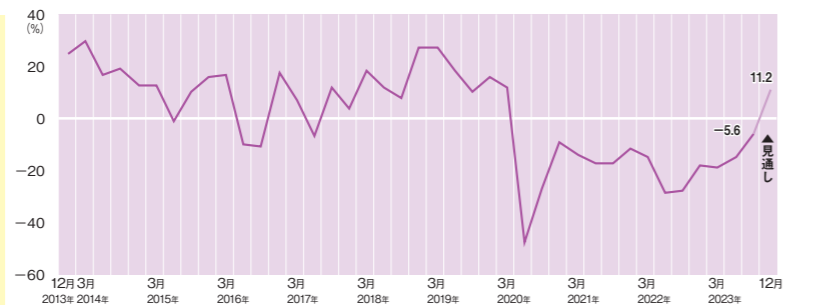
経営上の問題点



価格DI



お客様の声
●ドル高や円安はその時々で輸出業者や輸入業者にとって悲喜交々の喜怒哀楽を運んでくれますが、もう少し100～110円くらいで納まるようにできないものでしょうか。観光客が増えたからといって嬉しいものでもないです。
(尼崎市 総合建設業)
●今後、業界における各種規制、参入障壁が中小企業を減少させる大きな一因となる予想が強い。(豊中市 電気工事業)
●今後も屋外の工事が中心故に昨今の気候の異常さに先行き不安点が多いです。長雨、暴風、熱射等。(宝塚市 電気・通信・土木工事)



前期 ☁️
今期 ☔️
見通し ☁️



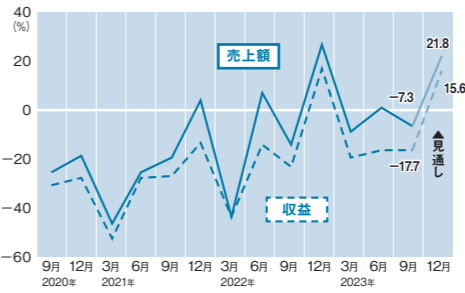
卸売業

業況は大幅に改善
来期はやや改善の見通し



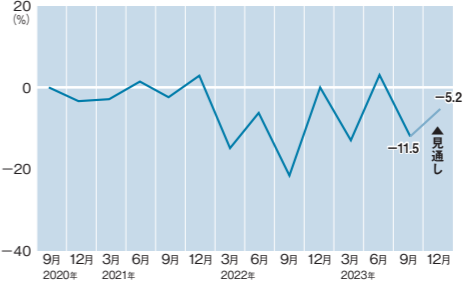
売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は悪化、
収益D1は横ばい



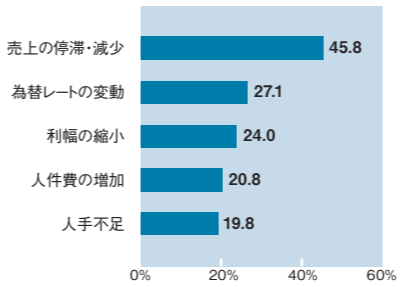
資金繰りD1

資金繰りD1は悪化



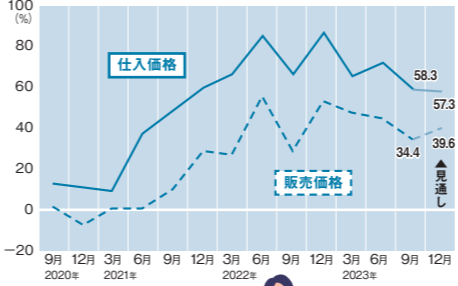
経営上の問題点

売上の停滞・減少が課題



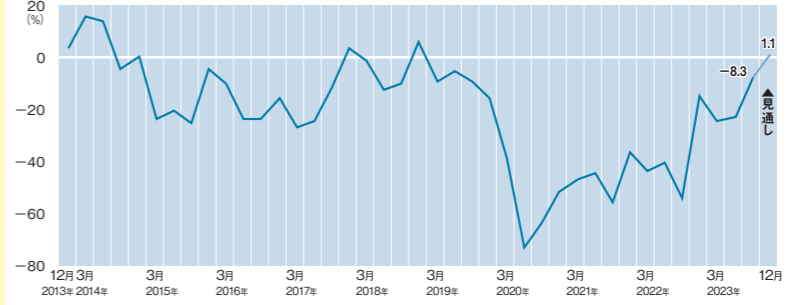
価格D1

仕入価格D1、
販売価格D1はともに低下



お客様の声

- 商品の価格上昇が毎月のようにあり、値上がり前の商品を大量に購入したりすることがある。車での営業なのでガソリン代の上昇が気になる。(大阪市 美容用品卸売業)
- 昨今の建築資材の高騰により住宅産業自体の閉塞感があるものの、リフォーム需要はそれなりにあり、お客様(工務店)と一緒に受注に繋げていきたい。(川西市 住宅建材・機器卸)
- エンドユーザーは身の回り品の物価高を許容していない。また、コロナ禍中に抑制されたコト消費に、消費が集中しており、モノ消費は弱みがある。(大阪市 卸売業)
- 原材料価格の高止まりや運賃の値上げ等により、利益率を伸ばせない状況が続いています。(三木市 卸売業)



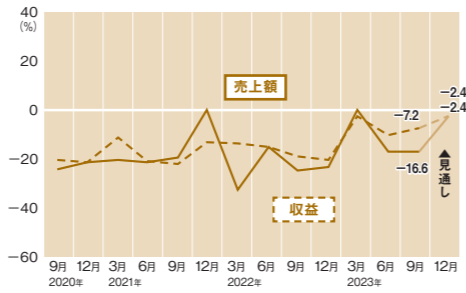
不動産業

業況は悪化
来期も悪化の見通し



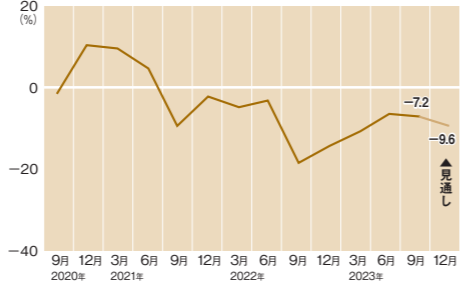
売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は横ばい、
収益D1はほぼ横ばい



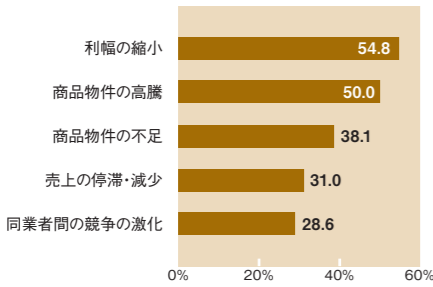
資金繰りD1

資金繰りD1は横ばい



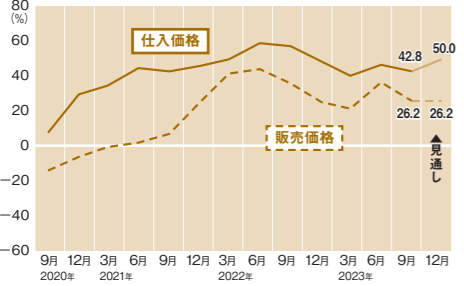
経営上の問題点

利幅の縮小に加え、
商品物件の高騰が課題



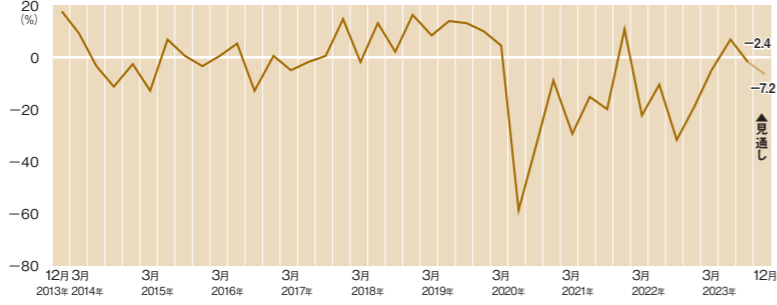
価格D1

仕入れ価格D1はやや低下、
販売価格D1は低下



お客様の声

- 顧客の動向が物価上昇のため生活費を重視している。不動産の需要の減少が心配。(西宮市 不動産仲介)
- 特に景気の悪さは感じない。(西宮市 不動産賃貸業)
- 土地・資材等の高騰により販売価格が一般客層では手が届かない状況の中、経営継続は非常に難しい。(尼崎市 不動産業)



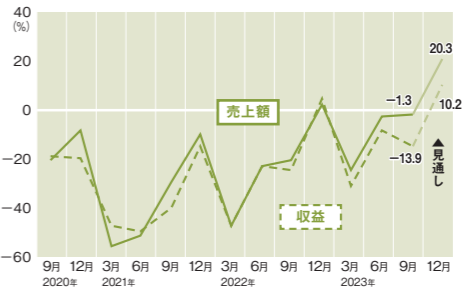
小売業

業況はやや改善
来期もやや改善の見通し



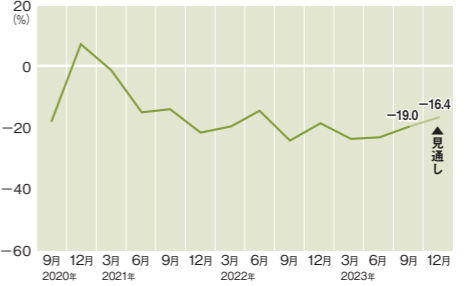
売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は横ばい、
収益D1は悪化



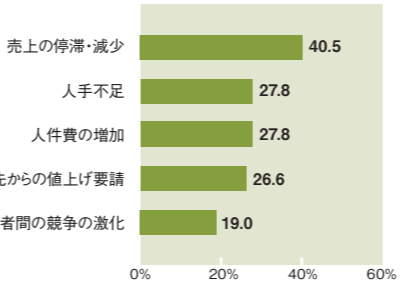
資金繰りD1

資金繰りD1はやや改善



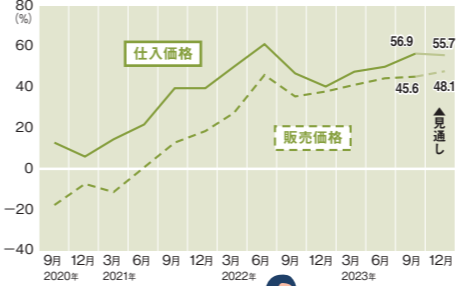
経営上の問題点

売上の停滞・減少が課題



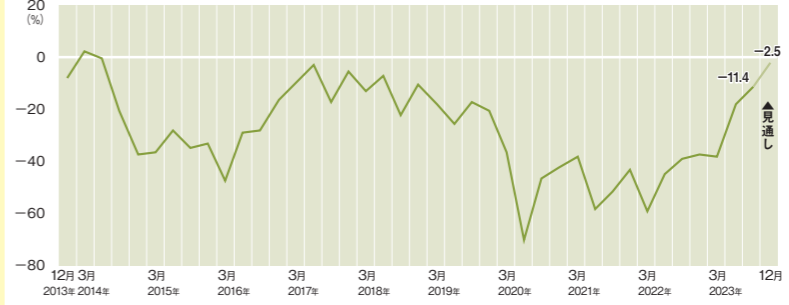
価格D1

仕入価格D1はやや上昇、
販売価格D1は横ばい



お客様の声

- 金地金の上昇が激しく、記念品などの取止めや変更が多く出てきており、売上利益が減少していきそう。対応策がなく困っている。(大阪市 貴金属小売業)
- ポストコロナになり、人の動きの活発化は感じています。値上げラッシュの影響もあるのか、不況感はまだありません。コロナ禍で増えた借り入れが重くのしかかっています。現在はワフワクする店作りに取り組んでいます。EC、実店舗共に。(西宮市 文具小売業)
- 来店顧客はコロナ前に比べて回復基調であるが、完全に戻っている訳ではない。会社としてはオリジナル商品の企画を増やし、高付加価値商品の売上増により、企業体質の強化を図ってほしい。(豊中市 服飾雑貨小売業)



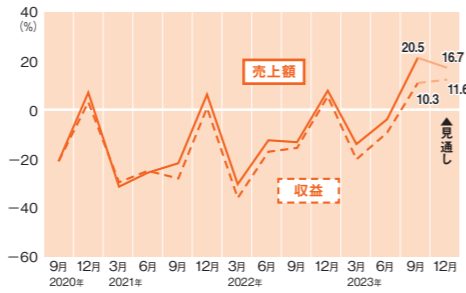
サービス業

業況は改善
来期は横ばいの見通し



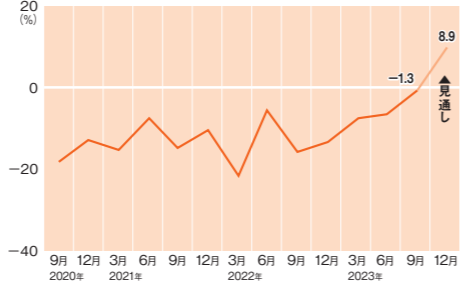
売上額・収益D1(前期比)

売上額D1、
収益D1ともに大幅に改善



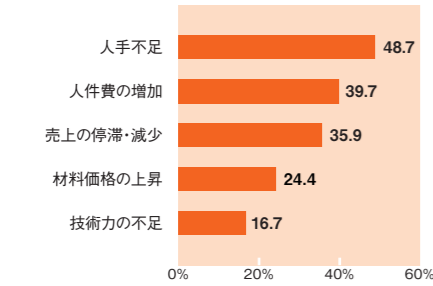
資金繰りD1

資金繰りD1はやや改善



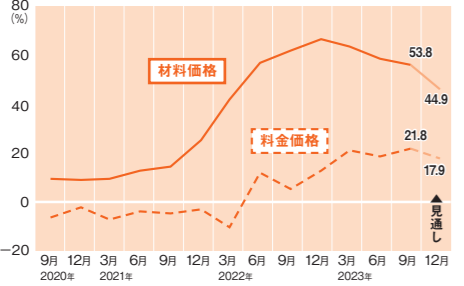
経営上の問題点

人手不足に加え、
人件費の増加が課題



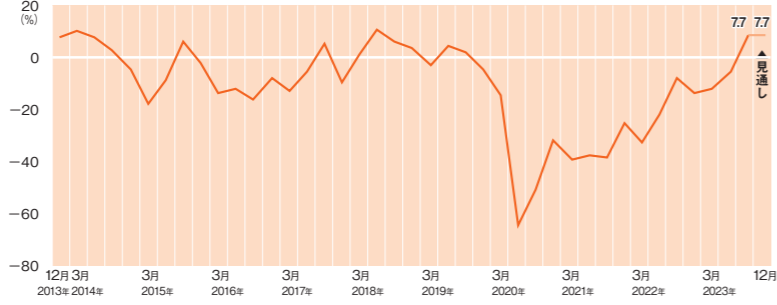
価格D1

材料価格D1、
料金価格D1ともにほぼ横ばい



お客様の声

- 今年は注文が多い。売上はかなり増加が見込める。(大阪市 建設コンサルタント)



特別調査 2

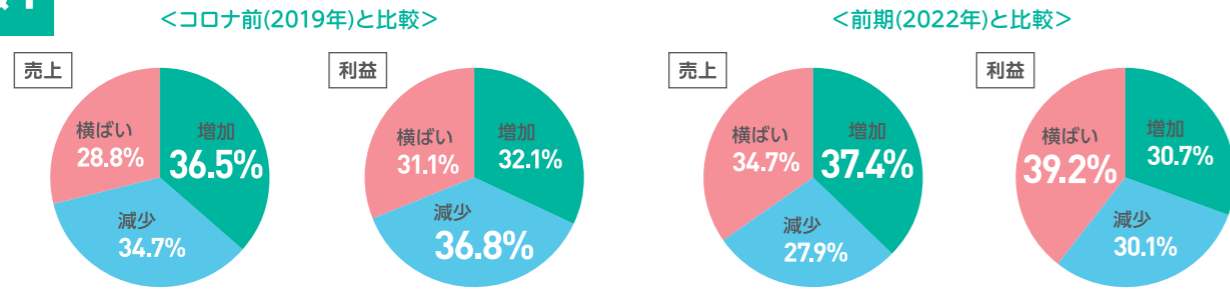
貴社の今期(2023年)の見通し、経営課題について

今後1年間の国内景気は、ポストコロナ(アフターコロナ)時代に向けた経済・社会システムの構築に対する動きが加速するものとみられております。賃上げによる消費マインドの改善、DXの推進、脱炭素化に絡んだ設備投資などは景気高揚の材料になりますが、悪材料として海外経済の減速、ウクライナ情勢の先行きの不透明感、エネルギー価格の高騰、人手不足、為替レートの変動などが懸念されます。そのような背景の中、今期の見通し、経営課題についてアンケートを実施いたしました。

調査時期/2023年8月16日~9月5日 調査対象企業数/1601社 有効回答数/496社 有効回答率/31% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

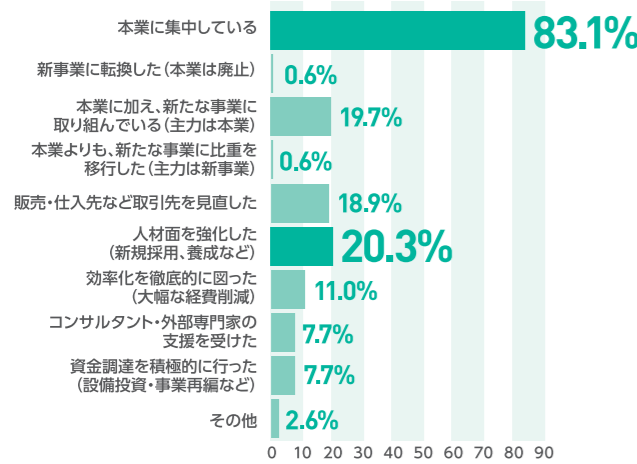
Q1

貴社の今期決算予想を【売上】・【利益】の項目からお答えください。 ※それぞれ1つ選択



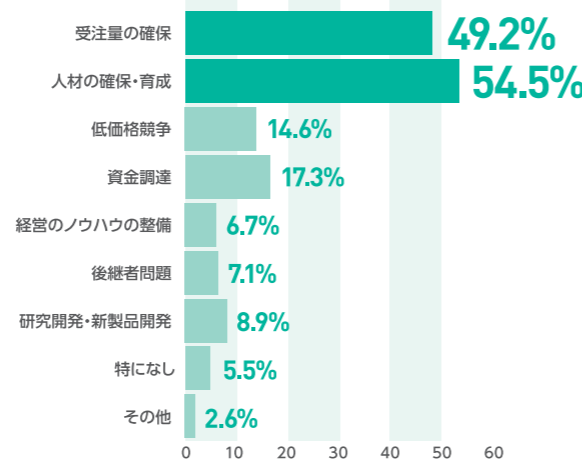
Q2

新たな経済・社会システムの構築が加速するなか、貴社は今期どのような取り組み(予定を含む)を行っていますか。 ※最大3つ選択



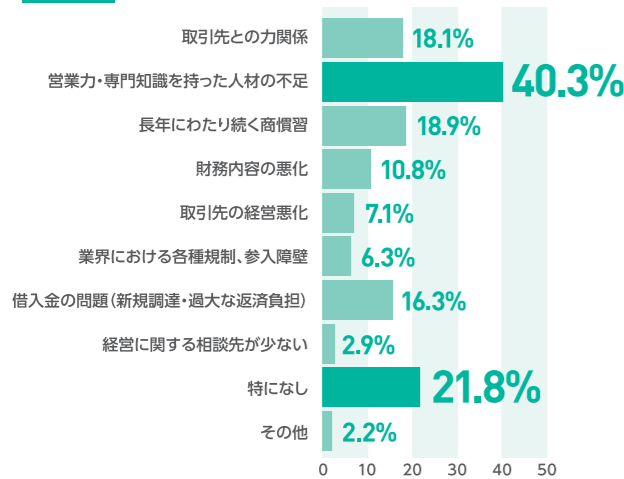
Q3

目まぐるしく変動するビジネス市場の中で、貴社が直面する経営上の課題は何ですか。 ※最大2つ選択



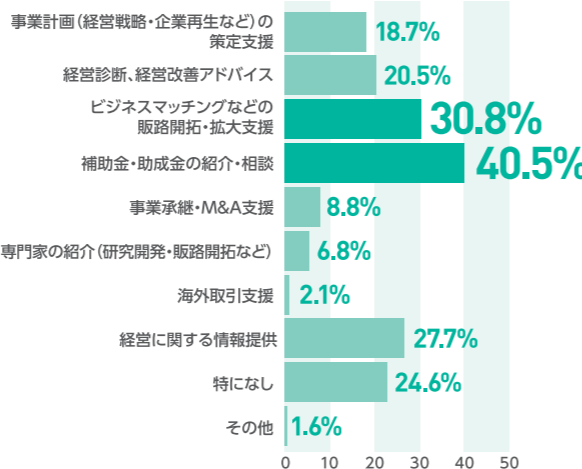
Q4

貴社が経営上の課題を解決する際に阻害要因となるものは何ですか。 ※最大2つ選択



Q5

貴社は、今後の事業運営にあたり、取引金融機関(メインバンク)にどのような支援サービスを期待しますか。 ※最大3つ選択



特別調査 1

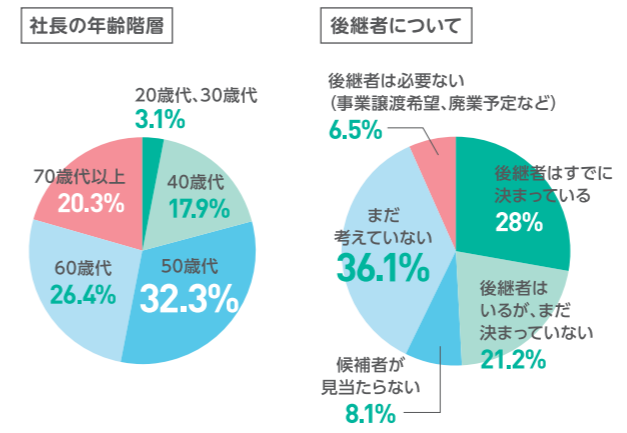
中小企業の将来を見据えた事業承継について

事業承継では、経営権・経営資源・物的資産という3つの要素を引き継ぎますが、具体的には代表取締役社長の地位を託し、経営権、実務のノウハウ、情報、事業用資産などを譲渡することで、事業承継が完了します。現状、多くの中小企業が後継者不足に悩んでいることから、テレビや新聞などのメディアで頻繁に取り上げられています。そのような状況のなか「中小企業の将来を見据えた事業承継について」アンケートの実施をいたしました。

調査時期/2023年8月16日~9月5日 調査対象企業数/1601社 有効回答数/508社 有効回答率/31.7% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

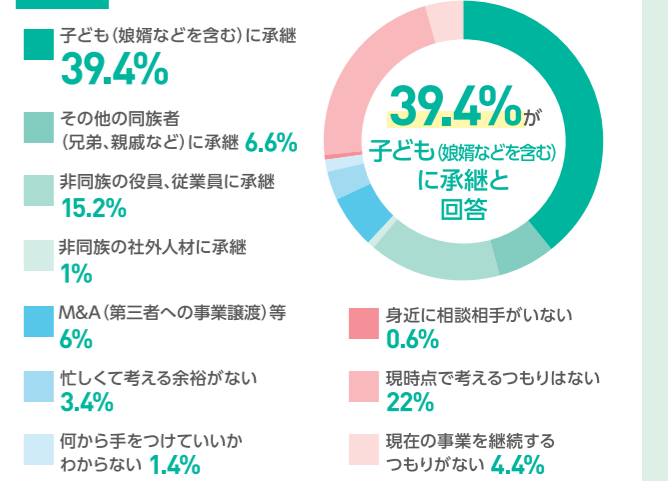
Q1

貴社の社長(代表者)の年齢階層はいずれに属しますか。また、貴社の後継者問題について最も当てはまるものをお答えください。 ※それぞれ1つ選択



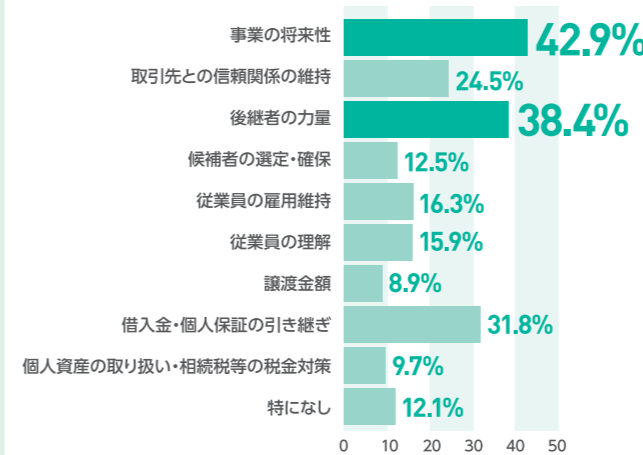
Q2

貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものをお答えください。 ※1つ選択



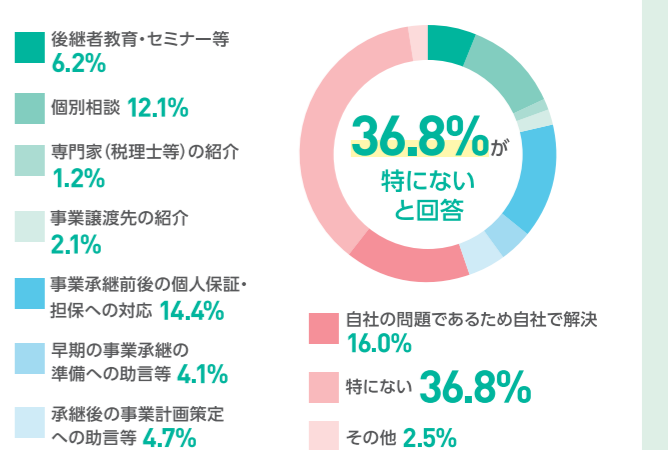
Q3

貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。 ※最大3つ選択



Q4

中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、お答えください。 ※1つ選択



Q5

近年、中小企業におけるM&A(第三者への事業譲渡)が話題になっていますが、M&Aについてどのような認識を持っていますか。 ※最大3つ選択

